

■防災マップの使い方

今回発行する「高梁市防災マップ」は、「情報冊子」と「マップ(地域別マップ・想定最大浸水区域図・雨水出水浸水想定区域図)」に分かれています。

「情報冊子」では

- ①災害について知り、避難する際にはいつ誰と行動すればよいかを考え、
- ②もしもの時に備え、何をしておけばよいかをご家族で意見をまとめた上で、
- ③世帯ごとに独自の「マイ・タイムライン(防災行動計画)」を完成させましょう。



「地域別マップ」には

- ①地図上で自宅の位置に印を付け、自宅周辺の災害リスクを把握し、
- ②ご家族で話し合い、自宅から避難先への避難経路を確認しましょう。



「情報冊子」と「マップ(地域別マップ・想定最大浸水区域図・雨水出水浸水想定区域図)」の情報は高梁市ホームページからご覧いただけます。ご家庭のパソコンやスマートフォン等からご利用ください。

<https://www.city.takahashi.lg.jp/soshiki/102/hazard-map.html>



■マップの見方

「地域別マップ」には、地域の災害リスクを把握するため、次のような情報を掲載しました。

- ▶ **洪水浸水想定区域(L1)※1**
- ▶ **土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域**
- ▶ **市内の避難場所、消防署、病院、災害対策用ヘリポート等の施設、異常気象時の通行規制区間、アンダーパス、要配慮者利用施設の場所**

「想定最大浸水区域図」には、洪水浸水想定区域(L2)※2およびL2時にも利用できる市内の避難場所を掲載しました。あわせて、早期に立退き避難をする必要がある区域も表示しました。

洪水浸水 想定区域 の見方

洪水浸水想定区域は高梁川と成羽川における想定降雨量を決め、どれほどの水量が川に流れるかを計算し、複数の決壊箇所を想定してシミュレーションを実施して、その場所で最大となる浸水深を表示したものです。

※1地域別マップには浸水想定区域(L1…レベル1=概ね100年に一度の大雨を想定した「計画規模」)を、

※2想定最大浸水区域図には浸水想定区域(L2…レベル2=概ね1,000年に一度の大雨を想定した「想定最大規模」)を、それぞれ地図上で色を付けました。

ただし、必ずしもマップのように浸水するということはありません。マップで色がついていない場所でも川の周辺など浸水の恐れがありますので、この「情報冊子」を読んで災害に備えましょう。

「雨水出水浸水想定区域図」は下水道区域(雨水)における想定最大規模の降雨を計算し、内水氾濫が発生した場合に想定されるシミュレーションを実施して、その場所で最大となる浸水深を表示したものです。この図は、河川の破堤または越水による氾濫等を考慮していませんので、想定される水深が実際と異なる場合があります。